

！ 部品の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 製品には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換をおすすめします。
※周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合など寿命が短くなります。
- 内部部品の発熱により表面が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 調光時に、うなり音がすることがありますが、異常ではありません。
- 停電などで電源が切れた場合、ON/OFFボタンを押すと、停電前の状態で点灯します。
ただし、起動時設定を「消灯」以外に設定している場合は、停電復帰後にON/OFFボタンを押さなくても点灯します。
- 別売の赤外線リモコン送信機で点灯状態を変更していた場合でも、本機のON/OFFボタンでOFF→ONした場合は、本機で設定している点灯状態になります。
- 照明器具の光源がちらつく場合があります。コイズミ照明お客様相談室、サービスセンターにご相談ください。
- 照明(1～4)それぞれを同じ光源色に設定していても器具により光源色が異なる場合があります。
- 表示灯付きスイッチタイプは使用できません。

■部品のお手入れ **△注意** 部品のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 部品の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
(全国共通番号) 電話  0570-055123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル
(全国共通番号) 電話  0570-015123
FAX  0570-025123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などに変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！



ご使用の際
このような
症状は
ありませんか

●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
●こげくさい臭いがする。
●コードに傷や傷みが見られる。
●グローブ、セードなどにひびが見られる。

➡

ご使用中
止

故障や事故防止のため、電源
スイッチを切り、必ず販売店
に点検、修理を依頼してくだ
さい。

**△安全に
関する
ご注意**

●照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証とアフターサービスについて

保証について

・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。
但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。
・グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切
って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談でき
ない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、「お客
様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

コイズミ照明株式会社 〒541-0051 大阪府中央区備後町3-3-7

KOIZUMI コイズミ照明器具用部品 取扱説明書

型番 AE54341E・AE54342E

お客様へ

部品の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
 厳守	部品の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	 禁止	部品のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。
 禁止	製品に直接断熱材をかぶせた施工はできません。→火災・感電の原因になります。断熱材を使用される場合は、必ず金属ボックスを使用してください。 説明書に記載された適合負荷、最大負荷容量以下でご使用ください。照明器具以外の負荷は使用できません。→火災・感電の原因になります。		埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。→樹脂製ボックスの場合、部品の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。 ランプまたは部品交換の際は、ブレーカによって機械的に電源を切ってください。→メモリーライトコントローラTSのON/OFFスイッチで消灯状態にしても電源は切れていません。感電・故障の原因になります。
 厳守	適合負荷の切り替えは所定の切替方法にて、正しく設定してください。→誤った設定で使用された場合、部品の故障や火災の原因になります。	 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
 分解禁止	部品を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。		

 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
 水ぬれ禁止	この部品は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→電子部品の劣化や絶縁不良による火災・感電の原因になります。	 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
 禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。→電子部品の劣化や絶縁不良による火災・感電の原因になります。		

■目次

■メモリーライトコントローラTSについて・P.2	■修理を依頼される前に・・・P.7
■日常の使用・・・P.2	■使用上のご注意・・・P.8
■シーンの設定と呼び出し・・・P.3	■部品のお手入れ・・・P.8
■各種設定・・・P.4	

■スマートフォン・タブレットからの設定、操作方法

●TRee plusアプリ、スマートブリッジ「AE54355E」をお使いの方はこちら







WEBマニュアル

iOS版

Android版

●handy TReeアプリをお使いの方はこちら







WEBマニュアル

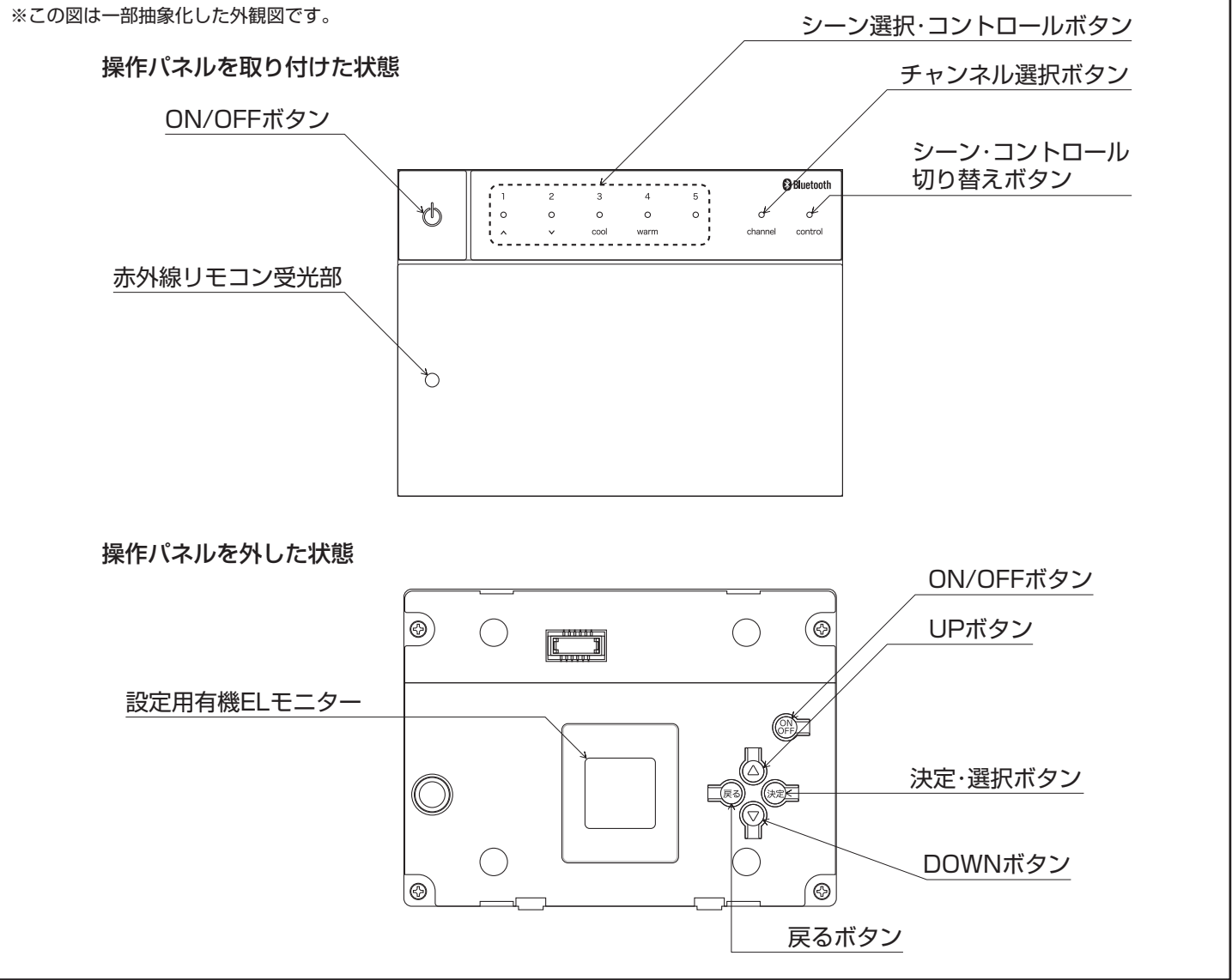
iOS版

Android版

※二次元コードを読み取ることでモバイル通信を行う可能性があります。

取説No. E102-226 RZ／T・T-01

■メモリーライトコントローラTSについて



■日常の使用

■照明の操作

ライトコントローラTSの各チャンネルをコントロールします。

①ON/OFF ボタンをタッチして照明を点灯させる。

※点灯状態では、電源マークが白色に点灯します。

②control をタッチして、操作モードにする。

操作モードの時は、control が点灯、channel が点滅する。

※操作しない状態が約30秒間続くと操作モードを終了します。

③channel をタッチして、チャンネル選択モードにします。チャンネル選択モードの時は、channel と各チャンネルが点灯する。

④操作するチャンネル(1～4)をタッチする。

⑤明るさを操作するには、▲ ▼ をタッチして、明るさを変える。

光色を操作するには、cool warm をタッチして光色を変える。

※設定されているチャンネルの負荷の種類によって操作できる項目が異なります。

■シーンの設定と呼び出し

■シーンの設定

照明の状態を5シーンまで記憶することができます。

①ON/OFFボタンをタッチして照明を点灯させる。

※点灯状態では、電源マークが白色に点灯します。

②照明の操作を行い、照明をお好みの状態に設定する。

照明の操作方法は、前ページ「照明の操作」をご覧ください。

③control が消灯している時に、記憶したいシーン番号(1～5)を約3秒間長押しすると、長押しした時の照明の状態を記憶する。登録が完了すると、ブザー(ピー)が鳴る。

※control が点灯している場合は、control ボタンをタッチしてください。

ON/OFF、調光の負荷の場合

調光調色の負荷の場合

チャンネル選択に戻る場合は channel をタッチしてチャンネルを再選択します。操作モードを終了する場合は control をタッチする。

■シーンの呼び出し

あらかじめ記憶したシーンを呼び出します。

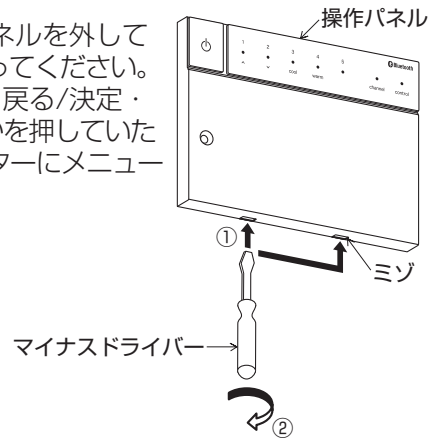
①シーンを呼び出す時は、シーンボタン(1～5)をタッチして呼び出す。呼び出したシーンの番号が点灯する。

※シーンは、電源マークがOFF(赤点灯)の状態からでも呼び出しが可能です。

※4チャンネル全てが消灯(調光0%)のシーンは設定・登録ができません。4チャンネル全てを消灯(調光0%)にするとライトコントローラの電源マークがOFF(赤点灯)となります。特に2台連動設定時ご注意ください。

■各種設定

設定は前面の操作パネルを外して有機ELモニターで行ってください。UP/DOWNボタン、戻る/決定・選択ボタンのいずれかを押しただくと、有機ELモニターにメニューが表示されます。



■照明の負荷設定

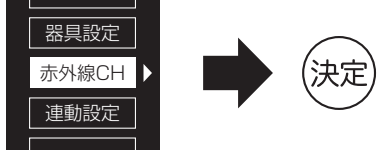
各チャンネルの照明の制御設定を行います。設定方法・操作パネルの外し方は施工説明書をご覧ください。

⚠ 警告 負荷容量を超えたり、調光や調光調色できない照明器具を調光・調光調色で使用しないでください。
火災・故障の原因となります。工事店・電器店にご相談ください。

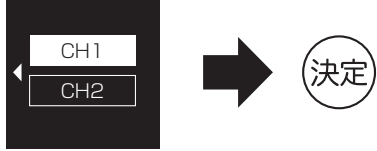
■赤外線リモコンのチャンネル設定

別売赤外線リモコン「AE54354E」とのチャンネル(CH1、CH2)を設定します。

①「赤外線CH」を選択して、決定ボタンを押す。



②△▽ボタンで設定するチャンネルを選択して決定ボタンを押す。

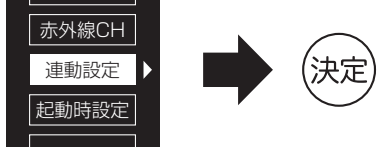


※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

■連動設定

メモリーライトコントローラTSを2台連動することができます。

①「連動設定」を選択して決定を押す。



②メモリーライトコントローラTSを連動する場合は、「連動する」を選択して決定ボタンを押す。



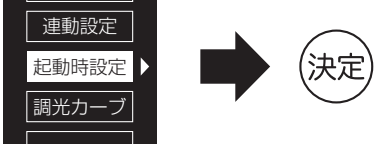
※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

※スマートアダプタと接続している場合や、無線モードの場合は連動できません。

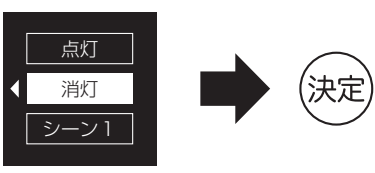
■起動時設定

製品に電源が投入された時の点灯または消灯状態を設定します。

①「起動時設定」を選択して決定を押す。



②「点灯」「シーン1」～「シーン5」または「消灯」を選択して決定ボタンを押す。



点灯：消灯前の点灯状態で点灯します。
シーン1～シーン5：設定されたシーンで点灯します。

※工場出荷時は、消灯に設定されています。

※シーン1～シーン5に設定する場合は連動設定をOFF(連動しない)に設定してください。
正常に動作しない場合があります。

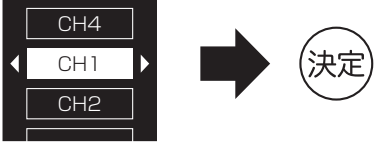
■調光カーブの設定(器具設定が調光、コンバータの場合)

調光時の調光カーブを設定します。

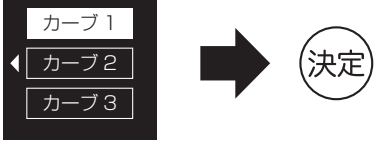
①「調光カーブ」を選択して決定ボタンを押す。



②設定するチャンネルを選択して決定ボタンを押す。



③「カーブ1」～「カーブ3」を選択して決定ボタンを押す。

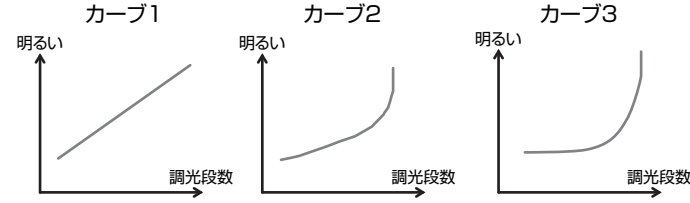


※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

※器具設定がON/OFF、調光調色の場合は調光カーブ設定は反映されません。

※工場出荷時はカーブ2です。

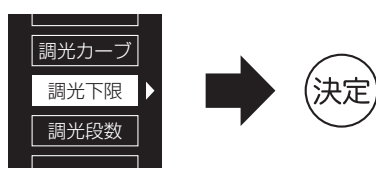
調光カーブ



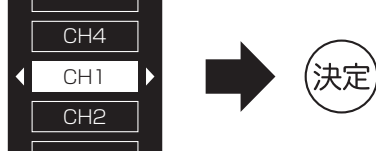
■調光下限値(器具設定が調光のみ)

調光下限値を設定します。

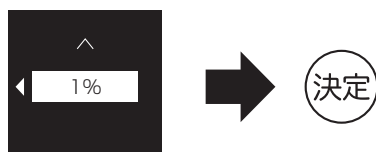
①「調光下限」を選択して決定ボタンを押す。



②設定するチャンネルを選択して決定ボタンを押す。



③△▽ボタンを押して調光下限値を設定して決定ボタンを押す。

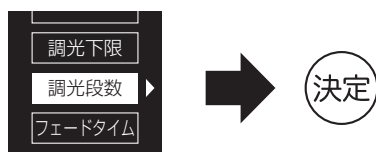


※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

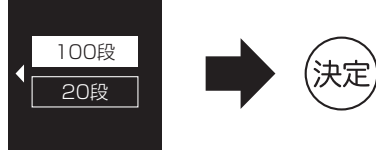
■調光段数(器具設定が調光のみ)

調光時の調光段数を設定します。

①「調光段数」を選択して決定ボタンを押す。



②「100段」もしくは「20段」を選択して決定ボタンを押す。



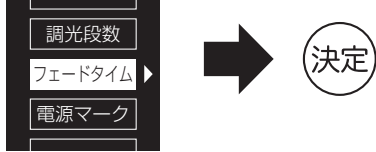
※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

※工場出荷時は20段に設定されています。

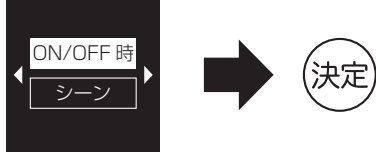
■フェードタイム

ON/OFF時、シーン切り替え時のフェードタイムを設定します。

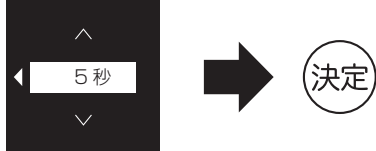
①「フェードタイム」を選択して決定ボタンを押す。



②「ON/OFF時」もしくは「シーン」を選択して決定ボタンを押す。



③△▽ボタンを押してフェードタイムを設定して決定ボタンを押す。



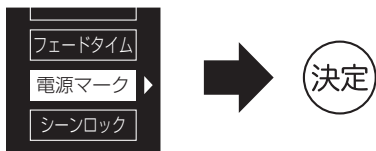
※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

※工場出荷時は、0秒に設定されています。

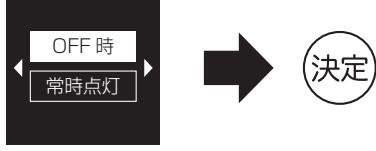
■電源マーク

ON/OFFボタンの電源マークの点灯状態の設定をします。

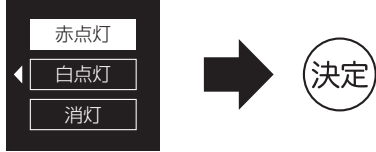
①「電源マーク」を選択して決定ボタンを押す。



②「OFF時」または「常時点灯」を選択して決定ボタンを押す。常時点灯を選択した場合、ON/OFFに関わらず電源マークが白色点灯します。



③OFF時を選択した場合、「赤点灯」「白点灯」「消灯」を選択して決定ボタンを押す。

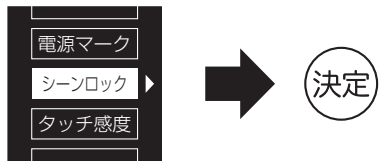


赤点灯 … OFF時に電源マークが赤点灯します。
白点灯 … OFF時に電源マークが白点灯します。
消灯 … OFF時に電源マークが消灯します。
※工場出荷時は、赤点灯です。

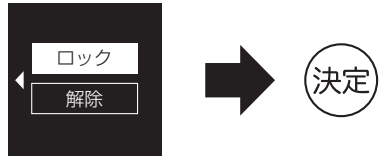
■シーンロック

設定されているシーンの状態にロック(変更不可)をかけます。

①「シーンロック」を選択して、決定ボタンを押す。



②「ロック」を選択して決定ボタンを押す。



※ロックする場合、予めシーン設定を完了させてから設定を行ってください。

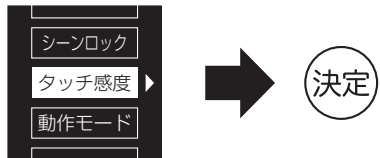
※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

※工場出荷時は解除に設定されています。

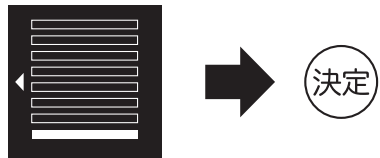
■タッチパネルの感度調整

タッチパネルの感度を調整します。

①「タッチ感度」を設定して決定ボタンを押す。



②△▽を押し感度のレベルを調整して決定ボタンを押す。



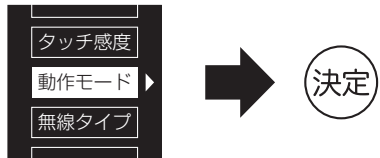
※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

※工場出荷時は、小(レベル表示：下から3段階目)の状態に設定されています。

■動作モード

通信モードを有線または、無線に選択します。

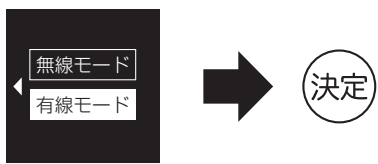
①「動作モード」を設定して、決定ボタンを押す。



②「無線モード」「有線モード」を選択して、決定ボタンを押す。

スマートアダプタ「AE49233E」ご使用の場合は「有線モード」を選択

専用アプリ「TRee plus」、[handy TRee]をご使用の場合は「無線モード」を選択



■無線タイプ

無線対応製品との通信設定時に使用します。

詳細はP.1の二次元コードよりWEBマニュアルをご覧ください。

■スキャン

専用アプリ「TRee plus」、[handy TRee]を使用せずに、別売リモコン「AE54349E」、[AE54350E]、[AE54351E]、[AE54352E]と無線通信を行う場合に使用します。

詳細は別売Bluetooth®対応リモコンの取扱説明書をご覧ください。

■アダバタイズ

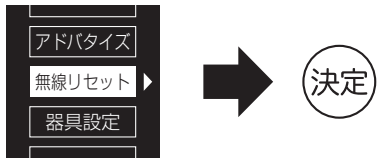
専用アプリ「TRee plus」、[handy TRee]と無線通信を行う場合に使用します。

詳細はP.1の二次元コードよりWEBマニュアルをご覧ください。

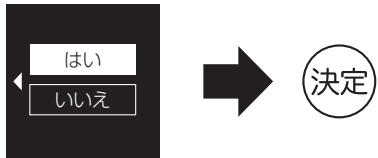
■無線のリセット

専用アプリ「TRee plus」、[handy TRee]との接続を解除します。
ペアリングがうまくいかない場合などは、一度無線リセットをしてアダバタイズしてください。

①「無線リセット」を選択して決定ボタンを押す。



②「はい」を選択して決定ボタンを5秒以上長押しする。



※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

■操作音の設定

タッチパネルをタッチした時の操作音を鳴らなくすることができます。

①タッチパネルを取り付けた状態で、ON/OFFボタンを10秒以上長押しする。

②操作音を鳴らす場合、ON/OFFボタンを10秒以上長押しする。

修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

●動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。

現 象	考えられる原因	処 置
照明器具を操作できない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	ランプが切れている	ランプを交換する
	起動時設定の選択が「消灯」になっている	起動時設定の選択を「消灯」以外に設定する(P.4■起動時設定についてをご確認ください)
別売赤外線リモコンで操作できない	チャンネルが合っていない	ライトコントローラとリモコン送信機のチャンネルを合わせる(P.4■リモコンのチャンネル設定についてをご確認ください)
調光や調光調色ができない	適合負荷の設定がON/OFF対応に設定されている	調光・調光調色可能な照明器具であることを確認してから工事店・電器店に相談する
	調光や調光調色ができない照明器具を調光・調光調色対応で使用している	適合負荷の設定をON/OFF対応にする(適合負荷の設定を変更した場合は必ず、ブレーカや壁スイッチで電源を切ってから操作してください)
	調光や調光調色ができない照明器具を使用している	そのまま(ON/OFF対応)で使用する
シーンの設定が変更できない	設定したシーンの状態にロックがかかっている	シーンロックの選択を「解除」に設定する(P.6■シーンロックについてをご確認ください)
タッチパネルを操作した時に操作音がしない	操作音の設定が消音モードになっている	タッチパネルの消音モードを解除する(P.6■操作音の設定についてをご確認ください)
連動設定ができない	正しく配線されていない	工事店・電器店に相談する
	動作モードが無線モードになっている	動作モードを有線モードにする
	スマートアダプタが接続されている	スマートアダプタが接続されている時は連動はできません。

●その他よくあるご質問は下記二次元コードよりご覧ください。



<https://www.koizumi-lt.co.jp/support/question/>

KOIZUMI コイズミ照明器具用部品

施工説明書

型番 AE54341E・AE54342E

お客様へ

部品の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
⚠ 厳守	部品の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →部品の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。
⊘ 禁止	製品に直接断熱材をかぶせた施工はできません。 →火災・感電の原因になります。 断熱材を使用される場合は、必ず金属ボックスを使用してください。
	説明書に記載された適合負荷、最大負荷容量以下でご使用ください。照明器具以外の負荷は使用できません。 →火災・感電の原因になります。
⚠ 厳守	適合負荷の切り替えは所定の切替方法にて、正しく設定してください。 →誤った設定で使用された場合、部品の故障や火災の原因になります。
⊘ 分解禁止	部品を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
⊘ 禁止	部品のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、部品の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され、火災・落下によるけがの原因になります。
	ランプまたは部品交換の際は、ブレーカによって機械的に電源を切ってください。 →メモリーライトコントローラTSのON/OFFスイッチで消灯状態にしても電源は切れていません。感電・故障の原因になります。
⚠ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
⊘ 水ぬれ禁止	この部品は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →電子部品の劣化や絶縁不良による火災・感電の原因になります。
⊘ 禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。 →電子部品の劣化や絶縁不良による火災・感電の原因になります。
	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。

■仕様

型番	AE54341E / AE54342E
定格電圧	AC100V
回路数	4回路
シーン数	5シーン
最大負荷容量	1回路あたり：2A(200VA)以下 4回路合計：8A(800VA)以下
配線機能	3路4路配線端子付
有線通信機能	2台連動で8回路連動可能 スマートアダプタ「AE49233E」による通信機能
無線通信機能	専用アプリをインストールしたスマートフォン・タブレットとの無線通信
適合スイッチボックス	3個用金属製スイッチボックス(カバー付) JIS C 8340

※本機の適合負荷はコイズミ照明器具専用となります。
※蛍光灯器具、ローボルトハロゲン照明器具、センサ付き照明器具、調光機能付きの電球形LEDランプは使用できません。
※LED照明器具を調光対応で使用する場合は、当社の連続調光用をお選びください。
※LED照明器具を調光調色対応で使用する場合は、当社の調光調色用をお選びください。
※プルレス機能のある照明器具はプルレススイッチが作動し、点灯状態が切り替わる場合があります。
詳しくは照明器具の取扱説明書をご覧ください。
※設置する環境で無線通信距離が短くなる場合があります。

■施工前の確認

1 部品重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 部品面がクロス貼りの場合
接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

3 設置場所を確認する
操作パネル下側には操作パネルを外す時に工具を差し込むミゾがあります。100mm以上スペースを確保してください。パネルを取り外す際は■施工手順の2を参照してください。

■施工手順 ⚠注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

3個用金属製スイッチボックス(カバー付)JIS C 8340(市販品)

UPボタン

シーン選択・コントロールボタン

シーン・コントロール切り替えボタン

ON/OFFボタン

決定・選択ボタン

チャンネル選択ボタン

操作パネル

ON/OFFボタン

赤外線リモコン受光部

戻るボタン

DOWNボタン

設定用有機ELモニター

本体

〈付属部品〉



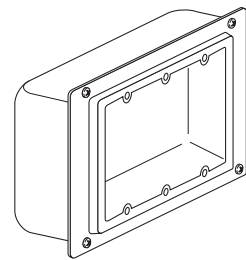
取付ネジ
(平ワッシャ・スプリングワッシャ付)
M4×15mm・・・・・・・・・・ 4本

1 スwitchボックスを取付ける

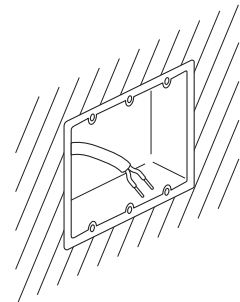
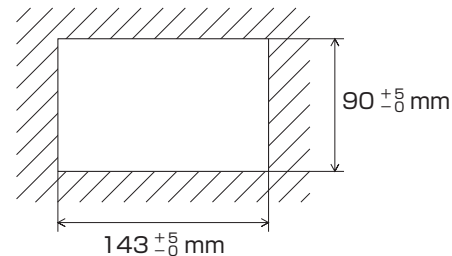
3個用金属製スイッチボックス(カバー付き)(市販品)を使用する。

※必ず金属製のスイッチボックスを使用してください。

※操作パネルを外す際の工具が入るように100mm以上のスペースを設けてください。

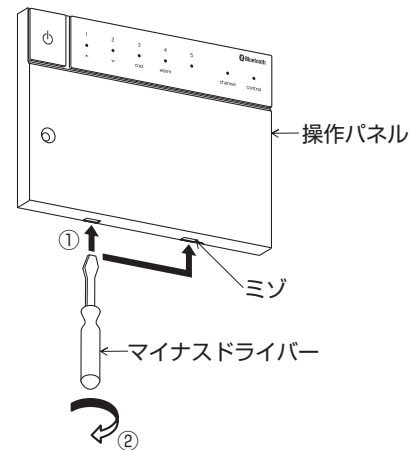


3個用金属製スイッチボックス(カバー付)
JIS C 8340



2 操作パネルを取外す

先端をテープなどで保護した刃幅6mm～9mmのマイナスドライバーなどを操作パネル側のミゾ(2箇所)に差し込み、マイナスドライバーを90°ゆっくり回転させて操作パネルが破損しないように本体から取外す。



3 電源線を接続する

電線の被覆を10mm～11mmむき、接続端子に確実に差し込む。

はずす時はドライバーなどで解除ボタンを押し、電源線を抜く。

※電源線、外部スイッチへの配線、照明器具への出力線はVVFまたはIV(銅単線)φ1.6mmまたはφ2.0mm専用です。

※結線図に従って接続してください。

⚠ 警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。

＜連動およびスマートアダプタと接続する場合＞

電線の被覆を10mm～11mmむき、連動用端子に確実に差し込む。

はずす時はドライバーなどで解除ボタンを押し、電線を抜く。

連動およびスマートアダプタとの配線はφ0.6mm～φ1.2mmの銅単線専用(CPEV線を推奨)です。

※連動用端子には極性があります。必ず極性を合わせて配線してください。

●連動する場合

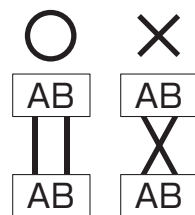
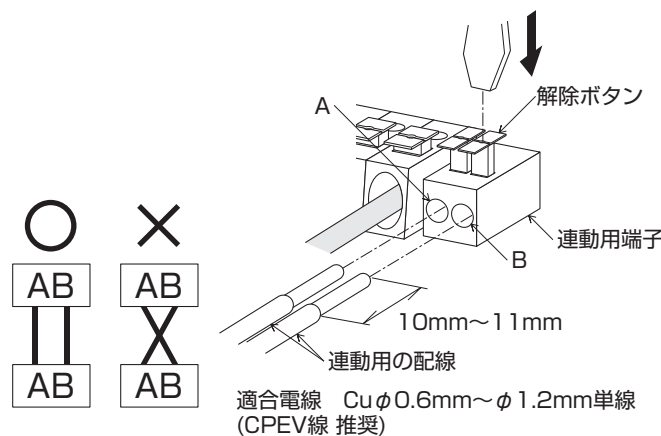
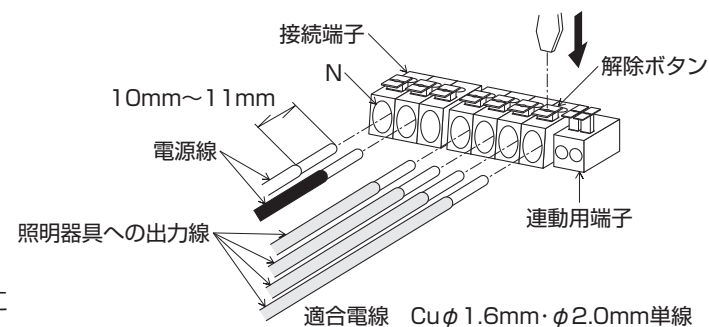
※連動設定は、取扱説明書をご覧ください。

※連動用の配線の長さは50m以下としてください。

※スマートアダプタと接続している場合や、無線モードの場合は連動できません。

●スマートアダプタと接続する場合

※スマートアダプタと接続する配線の長さは300m以下としてください。



＜結線の際のご注意＞

※照明器具のニュートラル側は接続端子のN側に接続してください。

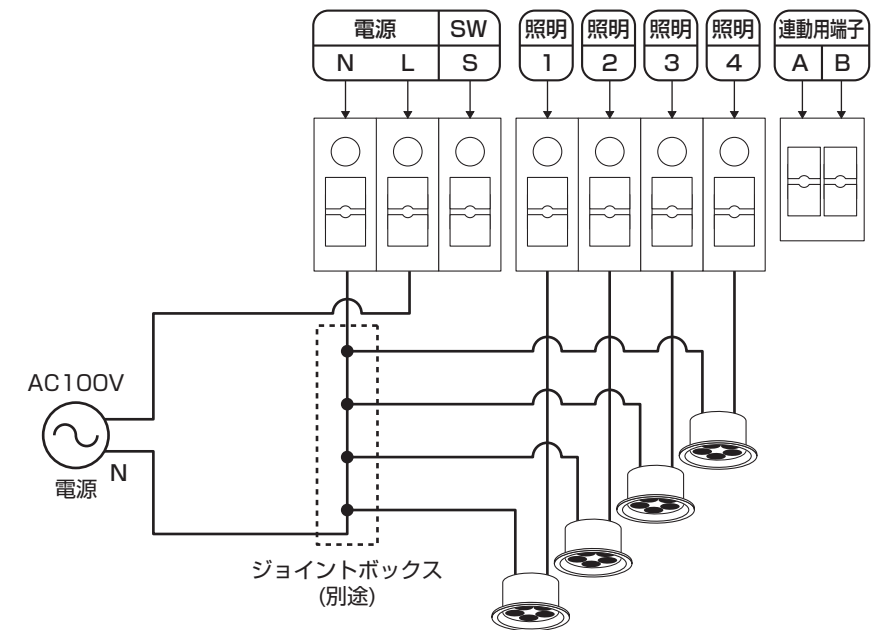
※ニュートラルの接続はジョイントボックスをご使用ください。
スイッチボックス内では接続できません。

※本体とジョイントボックスの間は3m以下にしてください。
3mを超える場合、チラツキの原因になります。

※ランプ交換の際はブレーカによって機械的に電源を切ってください。

結線図

●器具への基本配線の場合



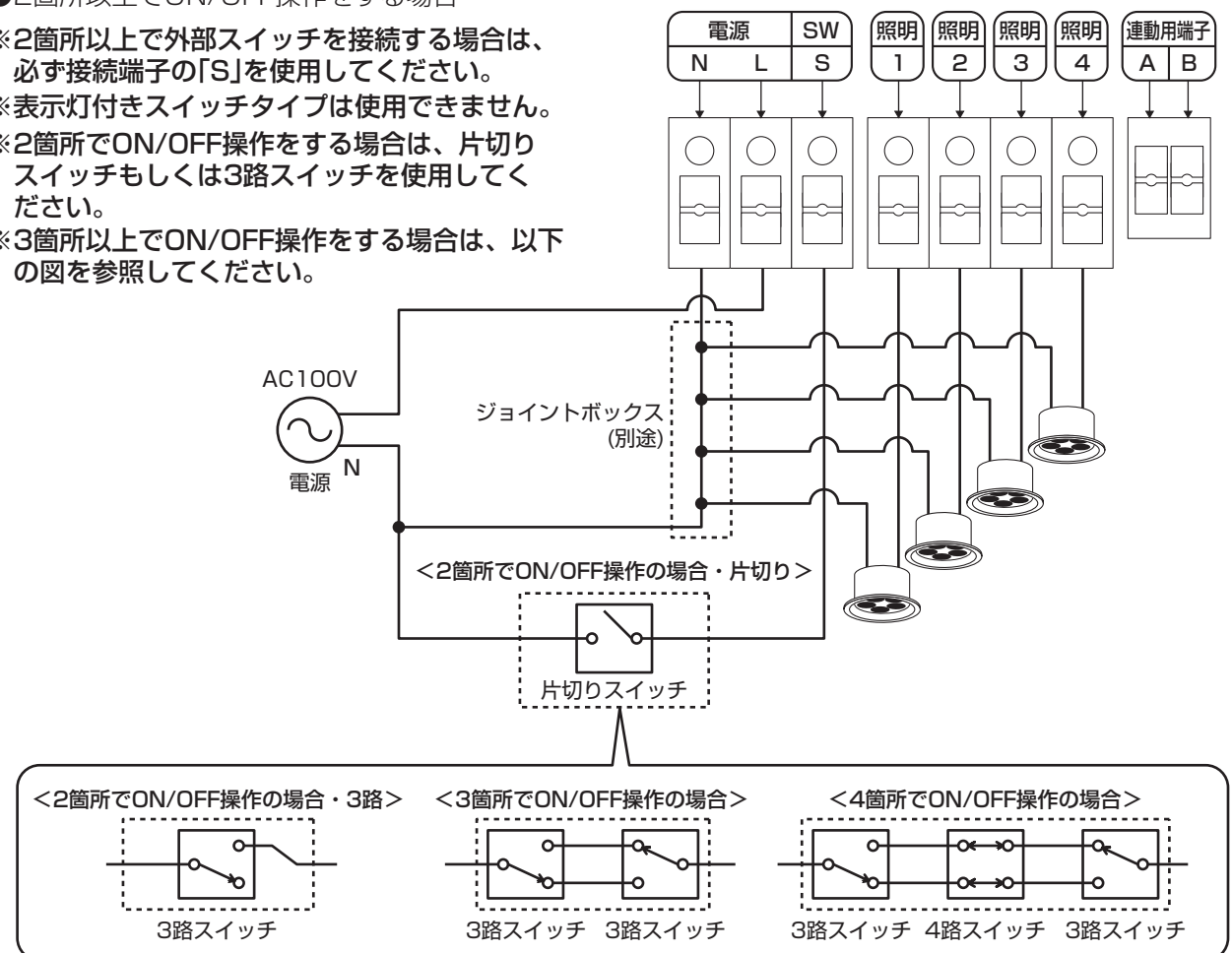
●2箇所以上でON/OFF操作をする場合

※2箇所以上で外部スイッチを接続する場合は、必ず接続端子の「S」を使用してください。

※表示灯付きスイッチタイプは使用できません。

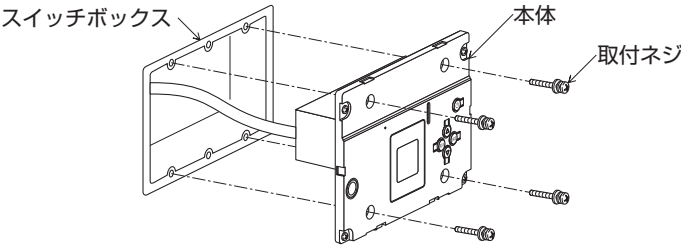
※2箇所でON/OFF操作をする場合は、片切りスイッチもしくは3路スイッチを使用してください。

※3箇所以上でON/OFF操作をする場合は、以下の図を参照してください。



4 本体を取付ける

本体をスイッチボックス(市販品)に合わせ、取付ネジで取付ける。

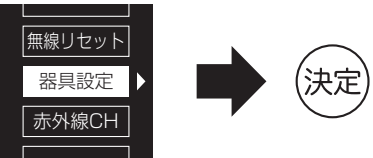


5 適合負荷の設定をする

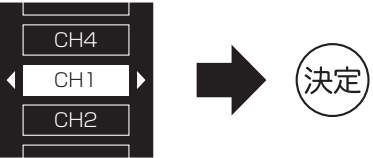
本体に電源を投入し、接続している照明器具のタイプによりチャンネル(回路)毎に器具設定をしてください。

⚠ 警告 設定と異なる負荷(照明器具)を使用しないでください。
火災・故障の原因になります。

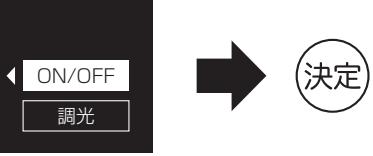
①「器具設定」を選択し、決定ボタンを押す。



②設定するチャンネル(回路)を選択し、決定ボタンを押す。



③使用する負荷設定を選択し、決定ボタンを押す。



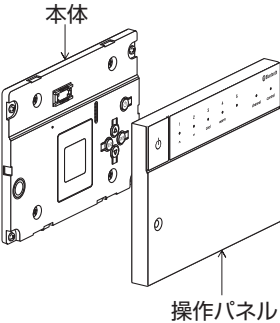
ON/OFF器具	位相調光器具	調光調色器具(AE48145E)※	PWM調光(AE55264E)※	未使用

※シグナルコンバータ(AE55264E：調光用)を使用する場合は、「コンバータ」を選択してください。
※シグナルコンバータ(AE48145E：調光調色用)を使用する場合は、「調光調色」を選択してください。
※シグナルコンバータ(AE55264E/AE48145E)またはパワーブースタ(AE45504E)接続時は適合負荷の設定後、シグナルコンバータまたはパワーブースタ側の電源ブレーカを一度オフにし、約10秒後オンにしてください。

6 操作パネルを取付ける

操作パネルをパネル上部から本体にはめ込む。

- ※操作パネル及び本体の接続コネクタに注意しながらはめ込んでください。
- ※接続コネクタをドライバーなどの金属で触れないようにしてください。



7 点灯の確認を行なう

電源を入れて、1回路ごとに照明器具が正常に操作できることを確認する。

※操作方法は、付属の取扱説明書を参照してください。

！ 部品の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 表示灯付きスイッチタイプは使用できません。
- 照明器具の光源がちらつく場合があります。コイズミ照明お客様相談室、サービスセンターにご相談ください。

■部品のお手入れ ⚠ 注意 部品のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

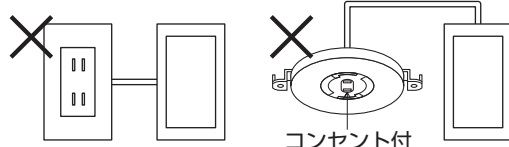
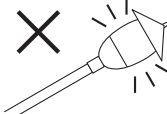
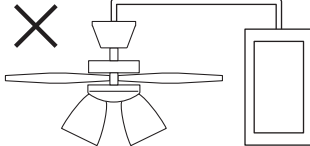
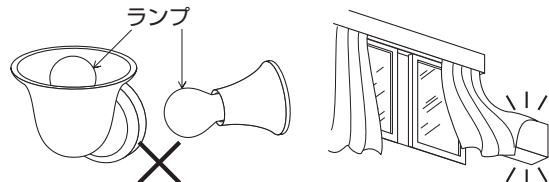
- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 部品の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

工事店様へ(別紙) 電気配線施工と照明器具の選定について

電気配線施工や照明器具の選定にご注意ください。

遠隔操作対応スイッチは、スマートフォンやタブレット端末から照明器具のON-OFF操作ができますが、電気用品安全法により、電気配線施工、照明器具の選定に考慮が必要です。

【安全上のご注意】

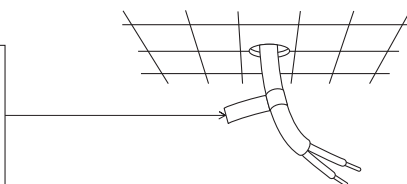
 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
 禁止 コンセント(サービスコンセントやコンセント付引掛シーリング含む)に接続される家電製品が特定できないため、遠隔操作対応スイッチをコンセント回路に使用しないでください。→ヒーターやモーター機器などが接続された状態で遠隔操作すると火災の原因になります。  コンセント付 転倒する可能性がある照明器具に使用しないでください。→照明器具が転倒した状態で遠隔操作すると火災の原因になります。  屋外用ポール灯など しっかり設置ができない照明器具	照明器具の取り替えや清掃、点検時などは、遠隔操作対応スイッチが接続されているブレーカーを落としてください。→感電の原因になります。 ファンなどの可動部がある照明器具には使用しないでください。→照明器具の清掃や取り替え作業中に、遠隔操作で可動部が動作するとけがの原因になります。  ランプが露出している壁取付照明器具には使用しないでください。→ランプに可燃物(カーテンなど)が触れると火災の原因になります。  ランプ

■遠隔操作する配線には表示をしてください。

施工時に遠隔操作する照明用電気配線と照明器具、引掛シーリングの表面または本体の近くに付属のシールを貼ってください。

遠隔操作する電線の被覆に貼ってください。

遠隔操作対応スイッチ配線 照明器具専用 使用禁止負荷は、遠隔操作対応スイッチの別紙をご覧ください。 コイズミ照明株式会社	 警告 火災、けがのおそれあり この配線には遠隔操作を 禁止した負荷を接続しない
---	--



遠隔操作する照明器具の本体近くに貼ってください。

遠隔操作対応スイッチ配線
照明器具の取り替えは
施工店にご相談ください。

